

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第97期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 第一実業株式会社

【英訳名】 DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宇野 一郎

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地(御茶ノ水ソラシティ)

【電話番号】 03 - 6370 - 8697

【事務連絡者氏名】 管理本部長代理(兼)経理部長 岡田 秀樹

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地(御茶ノ水ソラシティ)

【電話番号】 03 - 6370 - 8697

【事務連絡者氏名】 管理本部長代理(兼)経理部長 岡田 秀樹

【縦覧に供する場所】 第一実業株式会社 大阪支社
(大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館)

第一実業株式会社 名古屋支社
(名古屋市中区錦2丁目3番4号 名古屋錦フロントタワー)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第96期 第1四半期 連結累計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間	第96期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(百万円)	35,385	31,876	161,891
経常利益	(百万円)	1,733	1,081	8,073
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	870	725	4,457
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	685	668	3,759
純資産額	(百万円)	43,250	45,852	45,710
総資産額	(百万円)	101,223	111,310	112,561
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	81.72	68.06	418.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	81.32	67.73	415.87
自己資本比率	(%)	42.60	41.08	40.46

注 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により企業業績や雇用・所得環境等に引き続き改善の傾向が見られ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、一部の国・地域における地政学的リスクの顕在化、中国や新興国経済の成長鈍化、米中貿易摩擦の影響による世界経済の減速懸念など、不安定な国際情勢を背景に依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、プラスチック製品関連業界向けの成形機等や、自動車関連業界向けの自動化設備等の売上が減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べて35億9百万円減少の318億76百万円（前年同期比9.9%減）となりました。また、営業利益は6億57百万円減少の10億35百万円（前年同期比38.8%減）、経常利益は6億51百万円減少の10億81百万円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円減少の7億25百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

プラント・エネルギー事業

化学および石油プラント用設備や車載用リチウムイオン電池製造設備等の売上が減少したため、売上高は7億57百万円減少の66億46百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億19百万円減少の16百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

産業機械事業

プラスチック製品・食品関連業界向けの成形機および周辺機器、自動加工機等の売上が減少したため、売上高は18億68百万円減少の48億7百万円（前年同期比28.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2億55百万円減少の8百万円（前年同期比96.6%減）となりました。

エレクトロニクス事業

ITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が減少したため、売上高は6億93百万円減少の99億50百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1億28百万円減少の5億43百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

自動車事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、塗装ライン、車載電子部品製造関連設備等の需要が少なかったため、売上高は15億44百万円減少の67億16百万円（前年同期比18.7%減）、セグメント利益（営業利益）は3億5百万円減少の1億70百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

ファーマ事業

錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が増加したため、売上高は2億23百万円増加の21億7百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は9百万円増加の1億83百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

航空事業

航空機地上支援機材および空港施設関連機器等の売上が大幅に増加したため、売上高は11億8百万円増加の15億97百万円（前年同期比226.5%増）、セグメント利益（営業利益）は83百万円増加の1億2百万円（前年同期比438.2%増）となりました。

その他

売上高は22百万円増加の50百万円（前年同期比83.3%増）、セグメント損益（営業損益）は9百万円減少の4百万円の損失となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、12億50百万円減少の1,113億10百万円となりました。これは主に、プラント関連の前渡金の増加があったものの、売上債権の減少があったことによるものであります。

負債合計は、13億92百万円減少の654億58百万円となりました。これは主に、プラント関連の前受金の増加があったものの、仕入債務の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、1億41百万円増加の458億52百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益7億25百万円の計上があったことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更あるいは新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は60百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,086,400	11,086,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	11,086,400	11,086,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日		11,086,400		5,105		3,786

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 431,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,574,800	105,748	
単元未満株式	普通株式 80,500		
発行済株式総数	11,086,400		
総株主の議決権		105,748	

注 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式54株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 第一実業株式会社	東京都千代田区神田駿河台 4丁目6番地	431,100		431,100	3.89
計		431,100		431,100	3.89

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,839	25,771
受取手形及び売掛金	1 43,327	1 34,355
電子記録債権	1 2,656	1 3,092
商品及び製品	11,991	11,995
仕掛品	1,108	1,408
原材料及び貯蔵品	454	472
前渡金	11,016	13,942
その他	5,628	5,344
貸倒引当金	202	178
流動資産合計	97,818	96,206
固定資産		
有形固定資産	3,080	3,442
無形固定資産	515	498
投資その他の資産		
投資有価証券	8,395	8,439
退職給付に係る資産	1,159	1,153
繰延税金資産	464	464
その他	1,269	1,250
貸倒引当金	143	145
投資その他の資産合計	11,145	11,162
固定資産合計	14,742	15,103
資産合計	112,561	111,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 40,395	1 38,052
短期借入金	3 7,286	3 7,722
未払法人税等	1,215	128
前受金	13,242	14,925
引当金	1,560	1,139
その他	1,619	1,829
流動負債合計	65,321	63,797
固定負債		
長期借入金	470	369
繰延税金負債	411	542
引当金	19	21
退職給付に係る負債	340	345
その他	286	381
固定負債合計	1,529	1,660
負債合計	66,851	65,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,787
利益剰余金	35,369	35,562
自己株式	974	934
株主資本合計	43,286	43,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,961	1,822
繰延ヘッジ損益	77	21
為替換算調整勘定	276	298
退職給付に係る調整累計額	98	101
その他の包括利益累計額合計	2,258	2,201
新株予約権	144	110
非支配株主持分	20	20
純資産合計	45,710	45,852
負債純資産合計	112,561	111,310

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	35,385	31,876
売上原価	29,766	26,816
売上総利益	5,619	5,060
販売費及び一般管理費	3,926	4,024
営業利益	1,693	1,035
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	79	95
仕入割引	59	42
持分法による投資利益	17	15
その他	61	28
営業外収益合計	230	201
営業外費用		
支払利息	8	11
売上割引	1	1
支払手数料	19	21
為替差損	114	81
和解金	45	-
その他	2	38
営業外費用合計	191	155
経常利益	1,733	1,081
特別利益		
固定資産売却益	4	2
会員権売却益	-	5
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除却損	8	0
投資有価証券評価損	395	1
特別損失合計	403	1
税金等調整前四半期純利益	1,334	1,088
法人税、住民税及び事業税	155	204
法人税等調整額	308	157
法人税等合計	464	361
四半期純利益	869	726
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	725

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	869	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	138
繰延ヘッジ損益	82	55
為替換算調整勘定	31	21
退職給付に係る調整額	30	3
その他の包括利益合計	184	58
四半期包括利益	685	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	668
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	90百万円	97百万円
電子記録債権	30百万円	49百万円
支払手形	226百万円	241百万円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	-百万円	502百万円

3 貸出コミットメント契約

当社は、運転資金の機動的かつ安定的な調達を行うため取引銀行5行と貸出コミットメント契約を締結しております。当第1四半期連結会計期間末における借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
貸出コミットメントの総額	10,000百万円	10,000百万円
借入実行残高	6,000百万円	6,000百万円
差引額	4,000百万円	4,000百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	182百万円	185百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	639	60.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	532	50.00	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	自動車事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,404	6,676	10,643	8,261	1,883	489	35,358	27	35,385	-	35,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	191	260	174	20	-	735	8	743	743	-
計	7,493	6,867	10,904	8,435	1,904	489	36,094	35	36,129	743	35,385
セグメント利益又は 損失()	136	264	671	476	173	18	1,741	5	1,747	53	1,693

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 53百万円には、セグメント間取引消去 10百万円、たな卸資産の調整額 23百万円およびその他の調整額 19百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	自動車事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	6,646	4,807	9,950	6,716	2,107	1,597	31,826	50	31,876	-	31,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	76	171	36	4	-	307	6	314	314	-
計	6,665	4,884	10,121	6,753	2,112	1,597	32,134	56	32,191	314	31,876
セグメント利益又は 損失()	16	8	543	170	183	102	1,024	4	1,020	15	1,035

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

- 2 セグメント利益又は損失()の調整額15百万円には、セグメント間取引消去20百万円、たな卸資産の調整額2百万円およびその他の調整額 7百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新たに自動車事業を設立したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「産業機械事業」「エレクトロニクス事業」から、「産業機械事業」「エレクトロニクス事業」「自動車事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	81円72銭	68円06銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	870	725
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	870	725
普通株式の期中平均株式数(株)	10,656,636	10,665,726
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	81円32銭	67円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	53,179	51,996
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月 7日

第一実業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 神 代 勲 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 吉 原 一 貴 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている第一実業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、第一実業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- 注 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。